

「みやざき家庭教育サポートプログラム」のテーマ一覧

プログラムⅠ 〈子どもといっしょに学べるプログラム〉

【内容】親子一緒に学ぶことで良好な関係づくりにつなげる。

テーマ	【対象】 プログラム名	ねらい
①子どもといっしょに考えよう	【幼児～小学校下学年の親子】 1 おうちのルールを作ろう (基本的な生活習慣)	早寝、早起き、朝ごはん、歯磨き、あいさつ等について、家庭にあったルールを親子で考える。
	【小学校上学年～中学生の親子】 2 我が家のルールを作ろう (情報教育)	メディア(テレビ、ゲーム、インターネット、スマートフォン等)との関わり方について、家庭にあったルールを親子で考える。
②子どもといっしょにトライしよう	【全対象の親子】 1 紙コップタワー	1つの活動に親子で一緒に取り組み、コミュニケーションをとることで、親子で関わることの楽しさに気づく。 ※ 複数の組合せも可能
	【小学生～中学生の親子】 2 親子ですごろく	
	【小学校上学年～中学生の親子】 3 言い換え辞典カルタ	
	【小学校上学年～中学生の親子】 4 ソーメン・ひやむぎプログラム	
	【小学校上学年～中学生の親子】 5 ルービックスクウェア	

プログラムⅡ 〈幼児から中学生の子どもをもつ保護者向けのプログラム〉

【内容】子どもの発達段階に応じて、家庭で大切にすべきことを学ぶ。

テーマ	【対象】 プログラム名	ねらい
①親子のコミュニケーション	【幼児～小学校下学年の保護者】 1 子どものほめ方・しかり方	子どもに対するほめ方やしかり方において、場や状況に応じたよりよい言葉かけを考える。
	【小学校上学年～中学生の保護者】 2 子どもの悩みを聞いてみよう	思春期の子どもの悩みから、親子のコミュニケーションの在り方について考える。
②家庭のしつけとルール	【幼児～小学校下学年の保護者】 1 早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣	子どもの早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣向上において、我が家のルールを考える。
	【小学校上学年～中学生の保護者】 2 あいさつ返事・言葉遣い	あいさつや返事ができなかつたり、言葉遣いが悪かつたりしたときの対応について考える。
	【幼児～小学生の保護者】 3 約束を守る	親子で決めた約束が守れなかつたときの対応や約束を守るためのしかけについて考える。
	【小学校上学年～中学生の保護者】 4 携帯電話やインターネットと親の対応①	携帯電話やインターネットの光(メリット)と影(デメリット)から、我が家のルールを考える。
	【小学校上学年～中学生の保護者】 5 携帯電話やインターネットと親の対応②	SNSに夢中になる子どもの気持ちと親の対応について考える。
	【小学校～中学生の保護者】 6 思いやりのある行動	子どもが思いやりのある行動がとれた時ととれなかつた時の対応について考える。
③子どもの安全・健康	【幼児～小学校下学年の保護者】 1 子どもの安全について考えよう	地域の中の事故・事件の両面において、子ども達を危険から守るための具体的な方策を考える。
	【小学校上学年～中学生の保護者】 2 ゲームやテレビ等に費やす時間と影響	子どものゲームやテレビなどの時間から、子どもの健康等に与える影響や言葉かけについて考える。
④子どもの個性と夢	【幼児～小学校下学年の保護者】 1 我が子のPR～短所も長所～	子どもの長所や短所を見つめなおし、短所も肯定的に捉えながら自分の子どもの個性を考える。
	【小学校上学年～中学生の保護者】 2 応援したい!子どもの夢や希望	子どもがもっている将来の夢や希望から、親の子どもへの思いや願いを本音で共感し合う。
⑤学校や地域とのかかわり	【幼児～小学校下学年の保護者】 1 子どもとともに地域で自然と遊ぶ	自分が子どもの頃にした自然体験から、子どもの成長にどんな自然体験が必要かを考える。
	【小学校上学年～中学生の保護者】 2 社会体験で地域とつながろう	自分が子どもの頃にした社会体験から、子どもの成長にどんな社会体験が必要かを考える。

	【小学生～中学生の保護者】 3 先生といっしょに子どもを育てよう	先生の立場や考え方を理解・共有し、同じ歩調で子どもを育てようとする態度を育てる。
⑥心の痛みに寄り添う	【幼児～小学校の保護者】 1 子どもの心に寄り添う	心を痛めている子どもへの関わり方について考える。
	【小学校上学年～中学生の保護者】 2 何気ない差別を考えよう	子どもが差別につながる言動をしたときの関わり方について考える。
⑦子育て仲間づくり	【全対象の保護者】 1 子育ての悩みを語り合おう	子育てに関する悩みを、お互いに伝え合いながら、子どもとの関わり方について考え、相談できる仲間づくりにつなげる。
	【全対象の保護者】 2 「子育てすごろく」にチャレンジ	設定された複数のテーマに沿って、子育てについて話すことで、子どもへの関わり方について考え、相談できる仲間づくりにつなげる。

プログラムⅢ 〈将来の親世代（中学生・高校生・青年等）向けのプログラム〉

【内容】 親になったときに、必要なこと・大切にしたいことを学ぶ。

テーマ	【対象】 プログラム名	ねらい
①親の立場の理解	子どもの気持ちと親の気持ち	子どもに注意や忠告をする親の気持ちから、親子がお互いに理解し合える会話について考える。
②家族の一員として	家事・育児は誰の仕事ですか	家事や育児の考え方や、家事や育児の分担の仕方から、男女の協力の在り方について考える。
③大人としての自立	働くことについて考えよう	自分が将来就きたい職業や働くことの目的や意義から、自立した大人について考える。
④地域の一員として	地域活動に参加しよう	地域の方々がやっている地域活動から、自分達にできそうな地域活動について考える。
⑤子どもの気持ちを受け止める	悩みを一緒に考える	いやな思いをして、いつもと様子が違うとき、親としてどう受け止め対応するか考える。

プログラムⅣ 〈祖父母・シニア世代向けのプログラム〉

【内容】 子育ての先輩として、祖父母・シニアに望まれることを学ぶ。

テーマ	【対象】 プログラム名	ねらい
①祖父母としての役割	1 孫へのかかわり方について考えよう	孫へのかかわり方から、祖父母としての役割について考える。
	2 子育て中の親への接し方について考えよう	祖父母として子育てをしている親へのかかわり方から、祖父母としての役割について考える。
②子育ての先輩として	地域の親の相談にのろう	子育てに悩んでいる地域の親とのかかわり方から、子育ての先輩としての役割について考える。
③シニアの知識や技	自分のもっている知識や技を伝えよう	自分のもっている知識や技を生かし、地域の子どものためにできそうなことについて考える。

プログラムⅤ 〈地域住民向けのプログラム〉

【内容】 地域の親子とのかかわり方において、望まれることを学ぶ。

テーマ	【対象】 プログラム名	ねらい
①子どもを見守る	地域の子どもは地域で育てる	地域の子ども達とのかかわり方から、地域住民としての役割について考える。
②地域活動への参加	1 地域活動の輪を広げよう（地域住民）	地域の親子が参加できそうな地域活動から、地域活動の輪を広げる必要性について考える。
	2 地域活動の輪を広げよう（企業）	地域にある企業として地域の親子と関わる活動について話し合うことを通して、地域活動の輪を広げる。
③地域を知る	地域のおよさ（ひと・もの・こと）を伝えよう	地域のおよさ（ひと・もの・こと）を地域の親子に伝えるための方法について考える。